

諸課題の前進に向け全分会で意思統一

～林野労組九州地本第17回地本委員会～

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
(電) 096-354-1150

発行 歌野国光
責任者 10日
発行日 1部20円
定価 組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

当面の行動

- 4月5日 執行委員会
- 4月7日 安全祈願
- 4月19日 執行委員会
- 4月26日 地本団体交渉

補正予算(案)、二〇二三年
暫定予算(案)の提起があり、
内海監査員より会計監査報告が
ありました。

質疑・討論では、期間業務職
員の活用、女性組合員の青年女
性年齢制限、内々示の扱い、生
産量確保、組織率低下、林道維

3月3日、林野労組九州地本は、九州森林労連会館に
おいて各分会から地本委員が参加して第17回地本委員会
を開催しました。

古村地本副委員長の開会あいさつで始まり、委員会議
長に橋本委員(大分西部分会)を選出して議事が進めら
れました。



議長に選出された橋本委員(大分西部分会)

冒頭、甲斐地本執行委員長は
現在の国際、政治情勢等にふれ
ながら、
①「ロシアによるウクライナへ
の軍事侵攻から1年が経過し、
ロシアの侵攻は止まることなく、
連日多くの犠牲者が出ている。
林野労組は、ロシアのウクライ
ナ侵攻に対する特別決議を採択
をしてロシア大使館に抗議文を
交付するなどの取り組みを進め
てきたが、現下の情勢からすれ
ば軍事侵攻の長期化が予測され
る。平和の尊厳を学ぶ機会や地
域の集会への参加など、引き続
きのご協力をお願いしたい」



あいさつする甲斐地本委員長

②「物価上昇を加味した実質賃
金は前年同期比3.8%減8ヶ
月連続のマイナスということに
なっており、物価高に賃金の伸
びが追いついていない状況が深刻
化をしている。政治主導による
官製春闘で賃上げが進むわけ
ではなく、賃金、労働条件は労使
交渉で決定されるという原点に
立ち、経済社会の原動力となる
賃金に分配させていくことが重
要だということを改めて認識す
る必要がある。また、春闘結果
が人事院勧告に繋がら労働者の
賃上げが地場賃金の押し上げに
重要な役割を担っているという
ことなど相互作用も強く意識し
た積極的な賃上げ闘争が必要と
なっている。本委員会において
林野労組の春闘方針について確
認し、全分会で、要求書を提出
し職場交渉を積み上げ賃上げを
勝ち取り、各種手当についても
人事院交渉などの取組を継続さ
せて有利解決に向けて取組を進
めていきたい」

③「組織態勢強化については、
九州地本は、3月22日、令和
5年度事業予定説明及び国有林
野事業予定総括表の説明を局当
局から受けました。
説明内容としては、
①公益重視の管理経営の一層の
推進と森林・林業の再生への貢
献
②多様で健全な森林整備の推進
と民有林行政への技術的な支援
③令和5年度の事業予算の確保



全分会19人の地本委員が参加

④「労使交渉については、労働
組合は組織で取組を進め、組織
と着実な債務返済
④令和5年度の事業運営にあ
たっての局署等の幹部のリー
ダーシップについて、九州局の
考え方について説明がありまし
た。
その後、
①令和5年度の事業予定
②造林コストの低減等に係る対
応
③シカ捕獲の取組状況

④林道維持修繕予算の確保
⑤円滑な業務運営の確保
⑥樹木採取権の状況

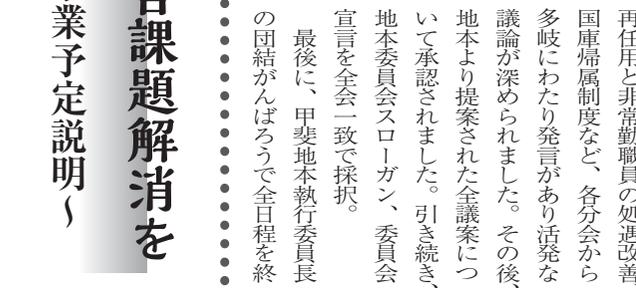
⑦非常勤職員予算について
⑧旅費、超勤予算の確保
⑨ドローンを活用した民有林
への技術的支援
⑩アウルの取組状況
⑪宿舎修繕予算の確保
の各項目について具体的な考え
方を確認しました。

局当局からは、業務運営の各
課題などの解消に向けて今後努
力をしていきたいとの回答を受
け、甲斐地本委員長は「来年度
に向けて、各部署の意見を踏ま
え交渉を申し入れたい」として
4月26日に地本交渉を実施する
こととしています。

林野労組が抱える課題や要求を
実現するために九州地本は組織
態勢強化を最重要課題としてこ
の間様々な取り組みを進めてき
た。組合員と課題を共有して運
動をしっかりと進めることが重要
である。分会の組織運営も大変
な苦労はあると思うが、組合
員の声を吸い上げた職場交渉の
積み上げなど、運動を通じた団
結強化や、組合員とのコミュニ
ケーション、世話役活動や一声
一枚岩運動の継続をお願いす
る」

続いて、加藤地本書記長より、
二〇二二年秋年闘争の経過と総
括、二〇二三春闘方針(案)を
提起。松本執行委員より
二〇二二年度中間決算報告及び

持修繕の予算確保、森林事務
所・宿舎関連課題、フルタイム
再任用と非常勤職員の処遇改善
、国庫帰属制度など、各分会から
多岐にわたる発言があり活発な
議論が深められました。その後、
地本より提案された全議案につ
いて承認されました。引き続き、
地本委員会スローガン、委員会
宣言を全会一致で採択。
最後に、甲斐地本執行委員長
の団結がんばろうで全日程を終



団結がんばろう

了しました。

円滑な業務運営の確保と各課題解消を 二〇二三年度事業予定説明

匠の腕

「出初式」

(撮影者 鶴山喜之:大隅分会)



「匠の一言」
迫力ある放水でした!

高校3年生時
に野球部で配
られた一人生
設計シート
ある高校球児
は27歳の欄へ
「WBC日本
代表 MVP
と書き込んだ。
大谷翔平選手
である。自ら
の能力を信じ
二刀流という
道を切り開い
た。28歳のス
ターは、シ
トに思い描い
たことを実現
するため、自
身の人生設計
をしっかりと
進め、WBCと
いう大舞台で
サムライジャ
パン優勝へ
と導き、自身
の目標を見事
に達成し、漫
画のようなス
トーリーは現
となつた。米
国との決勝。こ
ちらから見た
と日本代表選
手はスパー
スター揃いだ
が、選出され
ない選手は選
手達からすると
夢見の米大
リーグの選手
の存在はス
トリーに「僕
は知らず知ら
ずアメリカの
野球にかなり
リスペクトの
気持ちを持っ
ている。その
まなさが弱
気に見えるこ
とが多々ある
。今日だけ
はそれを忘れ
て勝負したい
。みんな出た
か?」
2023年度が
スタートした
この時期。課
題も多岐に
わたる。積み
重ねる精神力
を身に着け
、挑む精神力
を身に付け
、立ててみる
か。思い描い
たことを実現
するために。
(NIKU)

山上等作業手当の適用業務の

拡充などを求める

2023・3・10国公連合九州・林野労組の人事院九州事務局交渉

2023春季生活闘争における取組を進める中で、3月10日、地本は国交連合九州と連携し、人事院九州事務局交渉を実施しました。

2023春季生活闘争における取組を進める中で、3月10日、地本は国交連合九州と連携し、人事院九州事務局交渉を実施しました。この交渉では、山上等作業手当の適用業務の拡充などを求めました。

この交渉では、山上等作業手当の適用業務の拡充などを求めました。具体的には、①賃金要求、②給与制度の整備、③非常勤職員の労働条件改善、④新型コロナウイルス感染症対策、⑤労働時間の短縮、⑥障害者雇用、⑦女性公務員の労働権確立、⑧高齢者雇用政策、⑨福利厚生施策の充実を併せて求めました。

最後に葉師議長より、「回答は承ったが、本日段階の回答であると受け止める。本要求の解消に向け、引き続き意見を伝えていく」と述べ、交渉を終えました。



人事院九州事務局長(右)へ要求書を手交

その後、①賃金要求、②給与制度の整備、③非常勤職員の労働条件改善、④新型コロナウイルス感染症対策、⑤労働時間の短縮、⑥障害者雇用、⑦女性公務員の労働権確立、⑧高齢者雇用政策、⑨福利厚生施策の充実を併せて求めました。

1. 賃金要求について
2023年度賃金交渉については、民間企業連合会を軸に交渉し、労組側は最低賃金に引き上げを求め、労使双方の協力のあり方について労使協議会と十分な協議・協議すること。

7. 女性公務員の労働権確立について
労組側は、女性公務員の労働権の確保を求め、必要に応じて、必要となる業務の委託を行うこと。

「中山通信員・大分西部分会」2月22日、「分会親睦会」を別府市のホテルサンパリアーナックスにて開催し、組合員14名が参加。この「分会親睦会」は、団結強化と親睦を図る上で、分会としては重要な取組として進めてきましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、3年ぶりの開催の運びとなりました。

親睦会では、橋本分会委員長より「3年ぶりの開催となりましたが、時間の許す限り懇親を深めてもらいたい。」と挨拶。続いて白坂さんの乾杯の音頭で宴会に入りました。豪華な食事に舌鼓を打ちながら、

3年ぶりの「分会親睦会」開催
親睦と団結を深めよう
乾杯の音頭で宴会に入りました。豪華な食事に舌鼓を打ちながら、

久しぶりに行われ、多数の組合員が初めての参加となった「分会親睦会」。親睦と、より一層の団結を深める有意義な一日となりました。



親睦を深めあった大分西部分会組合員



力走する部原さん



終了後、全メンバーでハイチーズ!

「内海通信員・局分会」3月5日(日)、熊本県阿蘇市黒川「阿蘇農村公園あびか」において、2023春季生活闘争勝利に向け連合熊本主催による「第30回差別・地協対抗駅伝大会」が4年ぶり開催され、熊本地域森林労連(局分会メンバーを含む10名)で参加しまし

大会当日は、阿蘇地方の春の風物詩「野焼き」が行われていた中でのレースとなりました。大会は、熊本県内から30チームがエントリーし、全区間16.0キロの8区間でレースが展開さ

各世代から構成したチームは、1区藤川兼地(子)が大人顔負けのスタートダッシュを切り、2区田中凌太、3区大木博幸、4区部原亮介、5区藤川涼一(親)、6区藤崎恵莉佳、7区北

組合員および家族との

団結を確認!

タイムは、1時間9分42秒と前回大会より5分速い好記録をたたき出し、順位も14位と好成績を収め、走者全員ケガもなく心地よい汗をかき大会を終えました。

あの人とあの人

「新採四天王の一人 島人ツヨ〜ヨ〜」津波 佳樹さん(福岡分会)

今回、福岡分会より紹介するのは若手のホープ津波佳樹(つば よしき)君を紹介いたします。津波君は、令和4年度新規採用で沖縄県浦添市出身の琉球大学卒業(疑惑あり)(笑)ジャリ大好きな生粋の「うちなんちゅ」の25歳です。



ギターをこよなく愛す津波さん